



ガス瞬間湯沸器

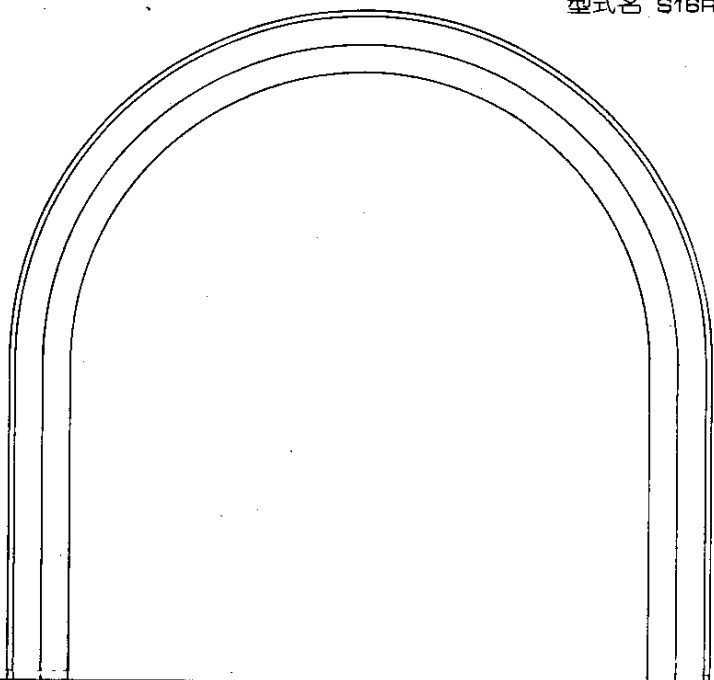
取扱説明書

33-890 型

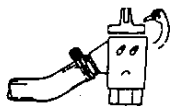
33-891 型

保証書付

型式名 S16R11 型



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも開める習慣を



使用中は熱くなりませ
手をふれないで
ください！



ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求め
いただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	3
●湯沸器の設置・工事	6
●使用手順	6
●断水時・停電時の処置	12
●冬期の凍結による破損予防について	12
●日常の点検・手入れ	15
●故障・異常の見分け方と処置方法	16
●長期間使用しない場合	20
●アフターサービス	21
●寸法図	22
●仕様一覧表	23
●特長	24
●メモ	25
●本製品と快適なくらしのために	26

各部の名称

湯沸器本体

排気トップ(排気口)

前板

給気口

銘板

給湯接続口

給水接続口

後板

ガス接続口

メインコントローラ

運転ランプ(緑)

●運転スイッチを「入」にすると点灯します。

燃焼ランプ(赤)

●バーナに点火すると点灯します。

切替ランプ(黄)

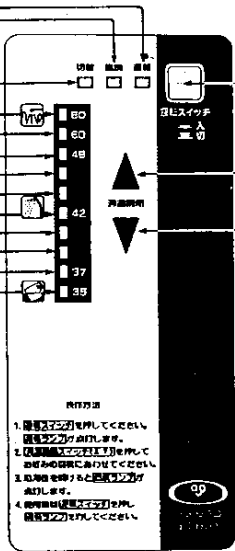
●このランプが点灯しているときだけメインコントローラで湯温調節ができます。

湯温調節ランプ(10段階)

(設定湯温を知らせます。)

ご注意

- 湯沸器に不具合が生じたときには、燃焼ランプの点滅と同時に状況に応じていずれかの湯温調節ランプが点滅してその原因を知らせます。(詳しくは18ページの「異常報知(警報モニター)について」の項をごらんください)



運転スイッチ(押しボタン式)

●「入、真」「切」になっています。

湯温調節スイッチ(アップボタン)

●お湯をあつくりたいときに押します。一度押すごとにひとつ上の設定温度になります。

湯温調節スイッチ(ダウンボタン)

●お湯をぬるくしたいときに押します。一度押すごとにひとつ下の設定温度になります。

特に注意していただきたいこと

正しく安全にお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- 湯沸器(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。
- 銘板は湯沸器正面右下に貼っています。
- ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

(銘板)

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量
製造年月日および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用13A
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用6C
- LPGガス用

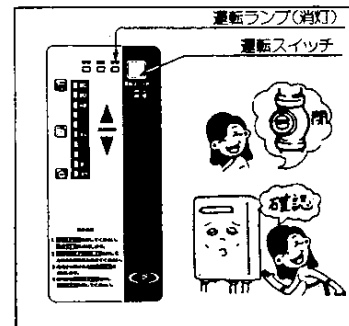
使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数をご確認ください。
この湯沸器はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかご確認ください。

使用上のご注意

①ガス漏れ予防

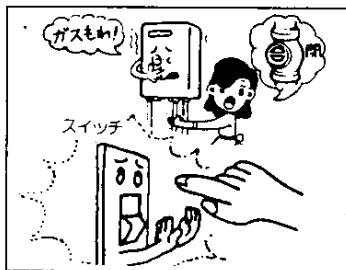
- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかときどき確かめてください。



特に注意していただきたいこと②

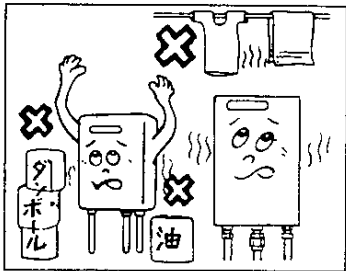
② ガス事故防止

- ガス漏れに気付いたときは、ただちに使用を中止して、ガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
【絶対に使用しないでください。】
- ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり（スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。



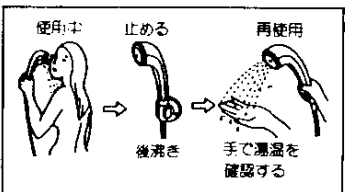
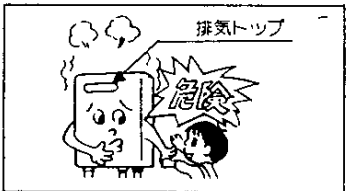
③ 火災予防

- 湯沸器の上やそばに燃えやすいもの（洗たく物、ダンボール、揮発油など）を絶対に置いたり、近づけたりしないでください。



④ やけどのご注意

- 使用中または使用後しばらくは、湯沸器本体の排気トップは熱くなります。手を触れたりしないでください。
- シャワーをご使用直後、再びお使いになるときは、いきなり体や頭にかけず、手で湯温を確かめてご使用ください。（湯沸器の後沸きによって一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。）



特に注意していただきたいこと③

⑤ 飲料用や調理用にお使いのとき

- 湯沸器を長時間使用しなかったときは、すぐに飲料用や調理用にご使用にならないで、少し湯(水)を流してからご使用ください。

⑥ 用途について

- 給湯およびシャワー以外の用途には、使用しないでください。

⑦ 市販の補助具について

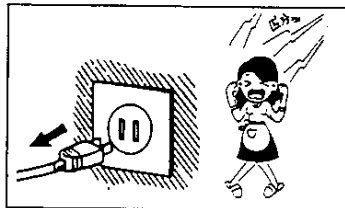
- この湯沸器用の付属部品および別売部品以外は使用しないでください。

⑧ 異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは、あわてず給湯せんを閉じ、運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉じて十分な点検をしてください。（詳しくは、16～20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をごらんください。）

落雷のおそれのある時

- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



凍結についてのご注意

- この湯沸器には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒期には湯沸器内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので、湯沸器内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。（詳しくは12～14ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項にしたがって処置をしてください。）

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れをしてください。（詳しくは15～16ページの「日常の点検・手入れ」の項をごらんください。）
- 湯沸器が故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずに、必ずお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

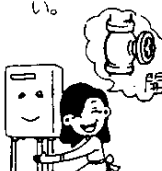
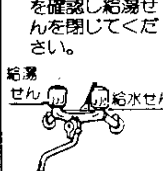
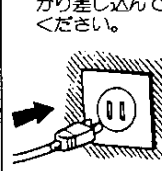
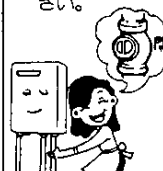
湯沸器の設置・工事

- 湯沸器の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
(詳しくは「設置・工事説明書」をごらんください)
- この湯沸器は屋外専用ですので室内には絶対に設置しないでください。

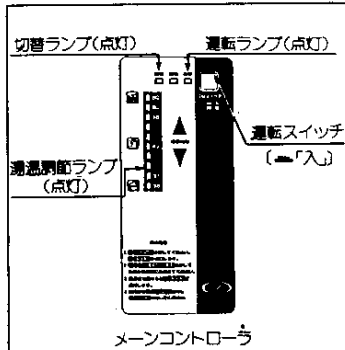
使用手順

使用前の準備と確認

- 湯沸器の操作をする前に次のことを行ってください。

手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
<ul style="list-style-type: none"> ●給水元せんを全開にしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●給湯せんを開いて水が出ることを確認し給湯せんを閉じてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス元せんを全開にしてください。 

- メインコントローラの運転スイッチを押して「入」にしてください。
(メインコントローラの運転ランプ・切替ランプおよび湯温調節ランプとシャワーコントローラ(別売部品)の湯温調節ランプが点灯します)

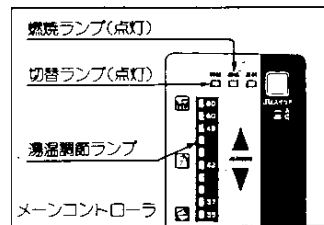


使用手順②

メインコントローラの使用方法

点火・出湯(お湯の出し方)

- メインコントローラの切替ランプが点灯していることをご確認ください。
(メインコントローラの切替ランプが消灯しているときは、メインコントローラでの湯温調節はできませんのでシャワーコントローラの切替スイッチを押して切り替えてください)
- 給湯せんを開くと、自動的に点火し燃焼ランプが点灯し、お湯が出てきます。
- このとき、メインコントローラの湯温調節ランプの点灯位置の温度のお湯になります。(詳しくは、8ページの「湯温調節のしかた(メインコントローラ)」の項をごらんください)

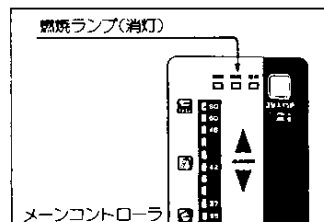


〈ご注意〉

- 使いはじめは、給湯配管内にたまった水が流れ出すまで、お湯は出てきません。(約30秒待ってもお湯が出てこないときは、給湯せんをいったん閉じて、運転スイッチを「切」にし、再び運転スイッチを「入」にして、給湯せんを開いてください)
- 給湯せんを絞りすぎると点火しなかったり、途中で消火することがあります。
- 高温設定したときには水の中の空気が分離して気ほうとなり、お湯が白くなることがありますが空気ですので何ら心配はありません。

消火・出湯停止(お湯の止め方)

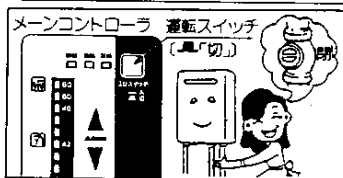
- 給湯せんを閉じると、自動的に消火し、燃焼ランプが消灯し、お湯が止まります。



使用手順③

使用後の処置

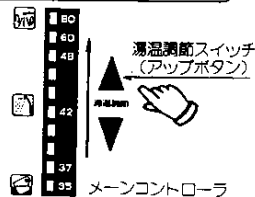
- ①メインコントローラの運転スイッチを押して「切」にしてください。すべてのランプが消灯します。
- ②長時間使用しないときは、ガス元せんを閉じてください。



湯温調節のしかた(メインコントローラ)

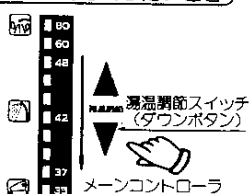
- ①メインコントローラの切替ランプが点灯していることをご確認ください。
- ②メインコントローラの湯温調節スイッチ(アップボタンまたはダウンボタン)により10段階の湯温が選べます。
- ③湯温調節スイッチを押して、湯温調節ランプの点灯位置を移動させて好みの温度にセットしてください。
- ④湯温調節ランプの点灯位置を「42」にすると約42℃のお湯になります。

お湯をあつくしたいとき



- アップボタンを1度押すごとにひとつずつ上の温度設定になります

お湯をぬるくしたいとき



- ダウンボタンを1度押すごとにひとつずつ下の温度設定になります

【ご注意】

- ①湯温調節ランプの右の数字は、出湯温度を合わせるときのめやすです。
- ②通常は約13ℓ/分の湯量で、自動的にガス量を調節して設定湯温に合いますが、その湯量でガス量最大にしても設定湯温にならないときは、ガス量は最大のまま自動的に湯量を少なくして、設定湯温に合わせます。
- ③市販の湯水混合せんをご利用になりますと、湯温調節ランプの点灯位置を「60」(約60℃の湯温設定)にしたままで、水と混ぜて好みの温度にすることもできます。(サーモキシングバルブをご利用の場合や、夏場に多量のお湯が必要な場合におすすめます)
- ④湯沸器に不具合が生じたときには燃焼ランプの点滅と同時に状況に応じて、いずれかの湯温調節ランプが点滅して、その原因を知らせます。(詳しくは18ページの「異常報知(警報モニター)について」の項をごらんください)

使用手順④

シャワーコントローラ(別売部品)の使用法

■各部の名称

切替ランプ(黄)

- このランプが点灯しているときだけシャワーコントローラで湯温調節ができます。

燃焼ランプ(赤)

- (●バーナに点火すると点灯します。)

切替スイッチ

- 切替ランプを点灯・消灯させて、浴室内操作または浴室外操作への切替に使用します。

湯温調節スイッチ(ダウンボタン)

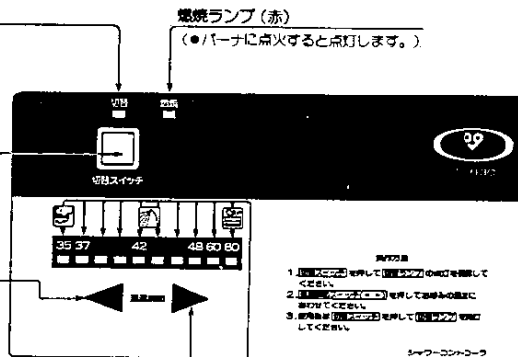
- お湯をぬるくしたいときに押します。一度押すごとにひとつずつ左の設定温度になります。

湯温調節スイッチ(アップボタン)

- お湯をあつくしたいときに押します。一度押すごとにひとつずつ右の設定温度になります。

湯温調節ランプ(10段階)

- (設定温度を知らせます。)



【ご注意】

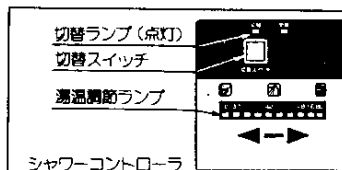
- 湯沸器に不具合が生じたときには、燃焼ランプの点滅と同時に状況に応じていずれかの湯温調節ランプが点滅してその原因を知らせます。(詳しくは18ページの「異常報知(警報モニター)について」の項をごらんください)

使用前の準備と確認

- この取扱説明書の6ページにしたがって行ってください。

浴室内操作への切替

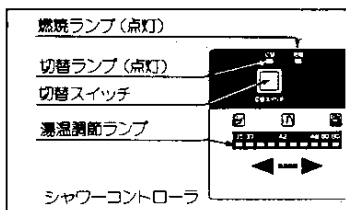
- シャワーコントローラの切替スイッチを押して切替ランプを点灯させてください。(シャワーコントローラで湯温設定した湯温調節ランプの点灯位置に切り替ります。)(メインコントローラの切替ランプが消灯します。)



使用手順⑥

点火・出湯(お湯の出し方)

- ①シャワーコントロールの切替ランプが点灯していることをご確認ください。
(シャワーコントロールの切替ランプが消灯しているときは、シャワーコントロールでの湯温調節はできませんので切替スイッチを押して切り替えてください)
- ②給湯せんを開くと、自動的に点火し、
燃焼ランプが点灯してお湯が出てきます。
- ③シャワーコントロールの湯温調節ランプの点灯位置の温度のお湯になります。
(詳しくは、11ページの「湯温調節のしかた(シャワーコントロール)」の項をごらんください)



〈ご注意〉

- ①使いはじめは、給湯配管内にたまった水が流れ出すまで、お湯は出てきません。
(約30秒待ってもお湯が出てこないときは、給湯せんをいったん閉じて、メインコントロールの運転スイッチを「切」にし、再び運転スイッチを「入」にして、給湯せんを開いてください)
- ②給湯せんを絞りすぎると点火しなかったり、途中で消火することがあります。
- ③高温設定したときには水の中の空気が分離して気ほうとなり、お湯が白くなることがありますが空気ですので何ら心配はありません。
- ④シャワーコントロールの切替ランプが消灯しているときは湯温調節ランプはメインコントロールの湯温設定を表示します。

消火・出湯停止(お湯の止め方)

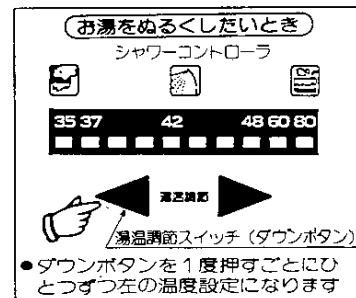
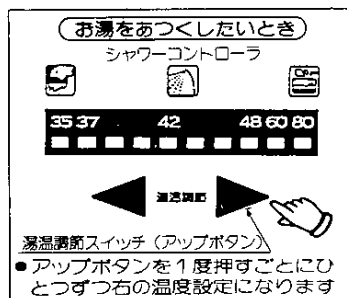
- ①給湯せんを閉じると自動的に消火し、
燃焼ランプが消灯し、お湯が止まります。



使用手順⑦

湯温調節のしかた(シャワーコントロール)

- ①シャワーコントロールの切替ランプが点灯していることをご確認ください。
- ②シャワーコントロールの湯温調節スイッチ(アップボタンまたは、ダウンボタン)を押して、湯温調節ランプの点灯位置を移動させて、お好みの温度にセットしてください。
- ③湯温調節ランプの点灯位置を「42」とすると約42度のお湯になります。

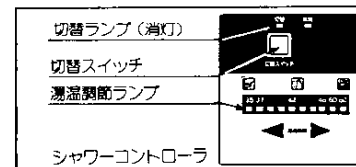


〈ご注意〉

- ①湯温調節ランプの上の数字は、出湯温度を合わすときのめやすです。
- ②市販の湯水混合せんをご利用になりますと、湯温調節ランプの点灯位置を「60」(約60℃の湯温設定)にしたままで、水と混ぜてお好みの温度にすることもできます。(サーモミックシグナルバルブをご利用の場合や、夏場に多量のお湯が必要な場合におすすめします。)
- ③湯沸器に不具合が生じたときには燃焼ランプの点滅と同時に状況に応じて、いずれかの湯温調節ランプが点滅して、その原因を知らせます。(詳しくは、18ページの「異常報知(警報モニター)について」の項をごらんください)

浴室外操作への切替

- ①シャワーコントロールの切替スイッチを押して切替ランプを消灯させてください。
(メインコントロールで湯温設定した湯温調節ランプの点灯位置に切り替わります。)
(メインコントロールの切替ランプが点灯します。)



断水時・停電時の処置

断水時の処置

- 断水のときは、給湯せんを閉じてメインコントロールの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再使用するときは、必ず給湯せんから水の出るのを確かめてから6～11ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

停電時の処置

- 使用中万一同電した場合は、給湯せんを閉じて、運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、6～11ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

冬期の凍結による破損予防について

冬期には、寒冷地以外でも急な寒波のため湯沸器内の水が凍結し、湯沸器を破損することがあります。湯沸器が凍結し、破損すると高額な修理費用がかかりますので、次のような処置をして湯沸器の凍結による破損を予防してください。

凍結予防装置

- この湯沸器には、万一同凍結予防処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために凍結予防ヒータを組み込んでいます。外気温が下がると自動的に湯沸器内を保温します。(運転スイッチを切っていても凍結予防ヒータは作動します)これは、凍結予防のためのもので、外気温度が極端に低くなるような場合は、効果がありませんので、13～14ページに記載の処置をしてください。

〈ご注意〉

- 湯沸器内の水を抜くとき以外は、絶対に電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと凍結予防ヒータが作動しません。

冬期の凍結による破損予防について②

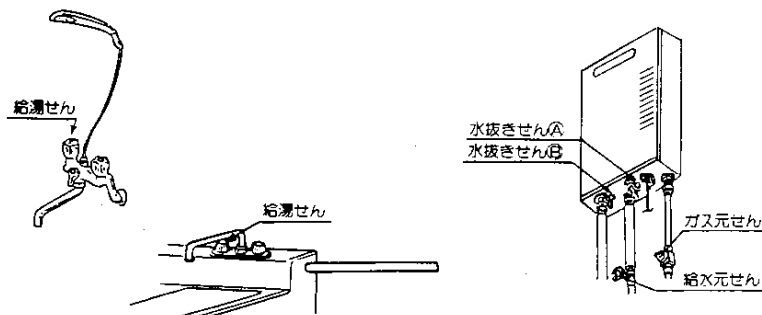
湯沸器内の水を抜く方法

〈入居前や長期不在の場合〉

- 給水配管の凍結予防はできませんが、凍結から湯沸器を守るには、最も良い方法です。

〈水抜きの手順〉

- 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ガス元せんを閉じてください。
- 給水元せんを閉じてください。
- すべての給湯せんを開いてください。
- 水抜きせん④、水抜きせん⑤を左に回して外してください。



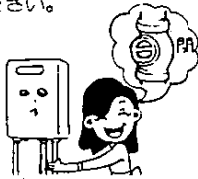
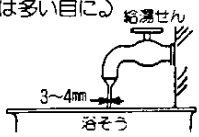
〈ご注意〉

- 給湯せんは、次にご使用のときまで開いたままにし、水抜きせん④および水抜きせん⑤は、外したままにしておいてください。
- 再び、使用されるときは、水抜きせん④および水抜きせん⑤を閉じ、給水元せんを開いて、給湯せんから水が流れるのをご確認ください。このとき水抜きせん④水抜きせん⑤から水漏れがないことをご確認ください。(電源プラグをコンセントにしっかり差し込み、6～11ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください)

冬の凍結による破損予防について③

給湯せんから水を出しっ放しにする方法

- 湯沸器本体だけでなく、給水配管、給湯配管の凍結予防にもなります。

<p>ガス元せんを閉じてください。</p> 	<p>メインコントロールの運転スイッチを「切」にしてください。</p> <p>*電源プラグを抜かないでください。</p>	<p>給湯せんより少量の水を流してください。1分間に牛乳ビン1本(200cc)以上。(寒い日は多い目に)</p> 
---	--	--

〈ご注意〉

- 給湯せんからの流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後に、もう一度流量を確認してください。(少なすぎると凍結予防にはなりません)

凍結したときには

- 凍結したときには、湯沸器に不具合が生じる場合があります。凍結がとけたあと、水漏れや、作動に不具合がないことを、確認してご使用ください。
- 湯沸器や配管が破損すると、高額な修理費用がかかります。(有料)

日常の点検・手入れ

- 湯沸器を安全に、快適に、ご使用いただくために日常の点検、手入れを必ず行ってください。
- 日常の点検・手入れの際には必ずガスの元せんを閉じ運転スイッチを「切」にして、湯沸器が十分冷えてから行ってください。
- 前板などは、外さないでください。

日常の点検

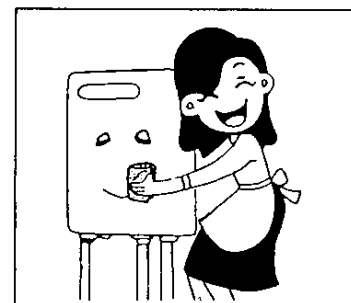
- 湯沸器の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- ガス配管部からガス漏れしていませんか？
- 給水、給湯配管から水漏れしていませんか？
- 排気トップ(排気口)や給気口をふさいでいませんか？
(排気トップ(排気口)、給気口は2ページの「各部の名称」の項をごらんください)
- 湯沸器のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が「正常」かどうか定期的に点検するのが、安全に、快適に、長期間ご使用いただくための「ひけつ」です。点検のご依頼は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

日常のお手入れ

- 前板・後板のそうじ
- 湯沸器の前板・後板の汚れはやわらかい布、またはスポンジに台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。(洗剤が残らないようご注意ください)

〈ご注意〉

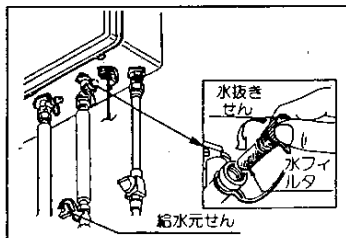
- 金属たわし・みがき粉・シンナーやベンジンなどは使用しないでください。(湯沸器本体の色が変色したり、印刷表示物の文字が消えます)



日常の点検・手入れ②

●水フィルタのそうじ

- 水フィルタに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。
- その場合は給水元せんを閉じ、水抜きせんを左に回して外し、水フィルタを引き出して、そうじしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

●最低作動水量について

この湯沸器は、湯沸器内の通水量が最低作動水量 (3ℓ/分) 以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いないように、ご注意ください。

●同時給湯について

2箇所同時にお湯を使用するとき、給湯配管の方法、給湯せんの開きぐあいによって、それぞれの給湯せんのお湯の量が異なることがあります。特に湯沸器から遠い場所、高い位置の給湯せんでは、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯せんを同時使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

●排気トップからの白い煙について

冬期(外気温が低いとき)には、排気ガス中の水分が水蒸気になるために排気トップから白い煙が出ることがあります。

これは、人の息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はありません。

故障・異常の見分け方と処置方法②

故障または異常例

異常現象	異常原因							処置方法	参照ページ	燃焼調整位置
	給湯せんを開いて着火しない	着火しにくい	使用中に消火した・消火しやすい	高温のお湯でない	使用中湯温が極端に変動する	異常な音がなったり燃焼音がする	過圧逃し弁から湯水がたつ			
ガス元せんの開き不十分	○		○				○	ガス元せんを全開にする	6	1
配管内に空気が残っている	○						○	点火操作を繰り返す	6	1
給水元せんの開き不十分	○	○		○				給水元せんを全開にする	6	-
水圧が適切でない	低い	○	○	○				点検・修理を依頼する	-	-
	高い						○		-	-
水フィルタにごみがつまっている	○	○		○				水フィルタをそうじする	16	-
給湯せんの開き不十分	○	○		○				給湯せんを十分に開く	7	-
電源プラグの差し込み忘れ	○							電源プラグを差し込む	6	-
運転スイッチの入れ忘れ	○							運転スイッチを「入」にする	6	-
点火装置の故障	○						○	点検・修理を依頼する	-	1
湯温調節装置の故障	○			○				点検・修理を依頼する	-	-
安全装置が作動	○	○					○	点検・修理を依頼する	-	3
燃焼装置の故障							○	点検・修理を依頼する	-	-

原因や処置がわからないときは、ただちに買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法③

異常報知(警報モニター)について

- ①この湯沸器には不具合が生じたときに、燃焼ランプの点滅と同時に状況に応じて、いずれかの湯温調節ランプが点滅してその原因を知らせる機能があります。
- ②下表のとおり、湯温調節ランプの点滅位置(異常原因)に応じた処置を行ってください。

湯温調節ランプ点滅位置	主な異常原因	処置方法(お客様)
10	制御部品の故障 (通信回路)	A → E
9		
8	制御部品の故障 (炎検知回路)	F
7	湯温の異常過熱 (約95℃以上)	B → C → E
6	送風機回路の不良	F
5	給湯サーミスタの故障 または断線	F
4	給水サーミスタの故障 または断線	F
3	安全装置の作動 または断線	F
2	バーナの途中断火	B → D → E
1	バーナの点火不良	B → D → E

③処置方法

- A 電源プラグをコンセントから抜いて、再びしっかりと差し込んでください。
 - B 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にしてください。
 - C 給湯せんを十分に開いていることをご確認ください。
 - D ガス元せんを全開にしてください。
 - E 点火・出湯操作をしてください。
 - F 湯沸器の故障ですので点検修理をご依頼ください。
- ④処置後、湯温調節ランプの点滅が止まれば正常です。
- ⑤ランプ点滅が止まらないときは、運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉じて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法④

安全装置が作動したときの処置方法

■安全装置の種類とその働き

①立消え安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガス弁を閉じて、湯温調節ランプ②を点滅させて、お知らせします。

②過熱防止装置

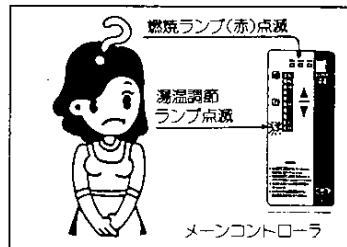
使用中湯沸器内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガス弁を止めて、湯温調節ランプ③を点滅させて、お知らせします。

③空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときはこの安全装置が働いて自動的にガス弁が閉じて、湯温調節ランプ④を点滅させて、お知らせします。

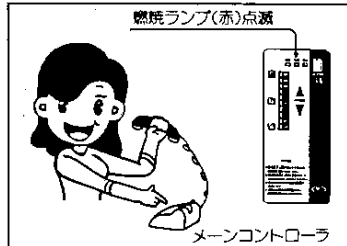
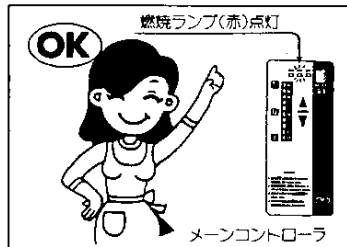
④過昇温安全装置

この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約95℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火し、湯温調節ランプ⑤を点滅させて、お知らせします。給湯せんを全開にしてご使用ください。



給湯せんを閉じて、メインコントローラの運転スイッチを「切」にする。

1分間待つてから運転スイッチを「入」にし、給湯せんを開く。



故障・異常の見分け方と処置方法⑥

① 過圧防止安全装置

湯沸器の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、湯沸器の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

〈ご注意〉

- 空だき安全装置が作動する際には、湯沸器の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。



② 凍結予防装置

12～14ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項をごらんください。

③ 漏電しゃ断器

万一、漏電した場合、この安全装置が働いて電源をしゃ断します。この安全装置が作動するとメインコントローラの運転ランプも点灯しません。この場合、一度電源プラグをコンセントより抜き再び差し込んでください。

■ 処置方法

- 18ページの「異常報知(警報モニター)について」の項をごらんになり、異常原因に応じた処置をしてください。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、運転スイッチを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いて、ガス元せん、給水元せんを閉じ必ず湯沸器内の水を抜いてください。(詳しくは13ページの「湯沸器内の水を抜く方法」の項にしたがってください)

アフターサービス

サービスのお申し込み

① 16～20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

② 確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な点がある場合ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 品名……ガス瞬間湯沸器
- ② 大阪ガス商品コード……湯沸器の正面右下に貼付してあります。

(例)

(4)33-890(U)

大阪ガス株式会社 06

③ 現象……できるだけ詳しく

④ 道順……できるだけ詳しく

転居される場合

● ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- この湯沸器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、湯沸器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

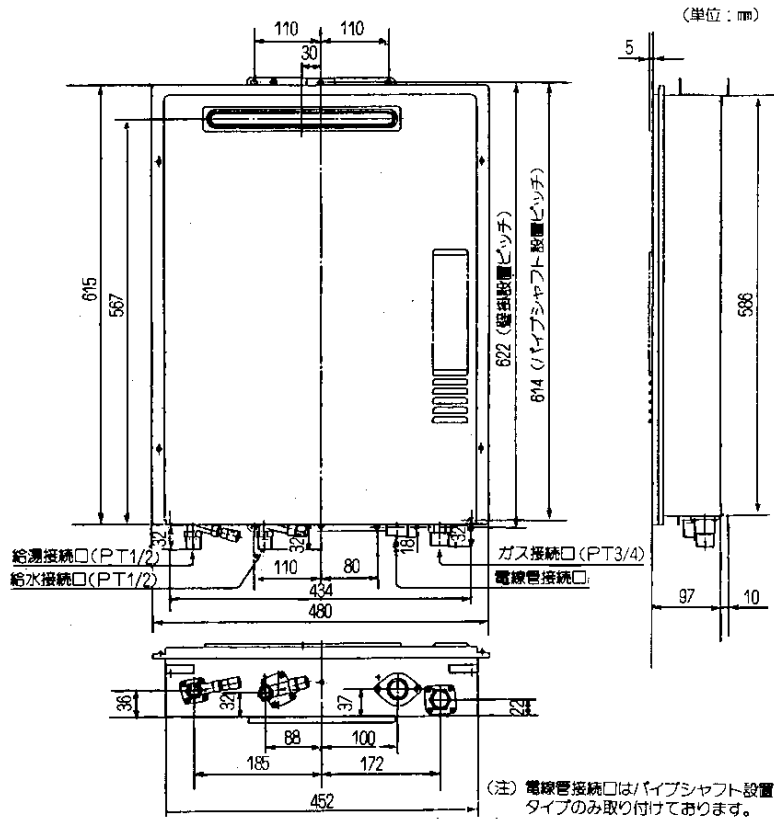
補修用性能部品の最低保有期間について

① 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

② 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。

* 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

寸法図



仕様一覧表

項目	種別	33-890型・33-891型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
最大ガス消費量 (m ³ /h)		7.1	2.9	4.6	2.5(kg/h)
設置方式	屋外設置				
外形寸法 (mm)	高さ615×幅480×奥行97				
重量 (kg)	18				
接続	ガス	20A(PT3/4)			
	給水	15A(PT1/2)			
	給湯	15A(PT1/2)			
	電気	AC100V			
消費電力 (W)	80(凍結予防ヒータ120)				
点火方式	連続スパーク点火、ダイレクト着火				
必要使用水圧 (kgf/cm ²)	0.8				
出湯量(水温+25℃)(ℓ/分)	16(湯水混合水せんで混合した時)				
安全装置	立消え安全装置 過熱防止装置 空だき安全装置 過昇温安全装置 過圧防止安全装置 凍結予防装置 漏電しゃ断器				

特 長

- 1** 超薄型の省スペースタイプ。
湯沸器の奥行9.7cmと、従来とは桁違いの超薄型を実現しました。
- 2** マイコン制御採用による快適給湯
ガス量と水量とのマイコン制御により、お好みのお湯(35℃~80℃)が給湯
せんを開くだけでいつでもご使用になれます。
- 3** 湯温設定も簡単操作
湯温調節ランプの位置を合わせるだけでお好みの湯温が得られ操作が簡単で
す。
- 4** 異常報知(警報モニター)付
万一、湯沸器の故障が起きても、原因がひと目でわかる異常報知(警報モ
ニター)が付いているので安心です。

メ モ

本製品と快適なくらしのために



年中、快適にシャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	●541	大阪市東区平野町5-1	☎大 阪06 (202) 2221
南支社	●557	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大 阪06 (852) 0001
北支社	●532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大 阪06 (301) 1251
堺支社	●590	堺市住吉南町2-2-19	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	●568	高槻市藤の里町39-6	☎高 槻0726(71) 0361
阪神支社	●662	西宮市和上町4-11	☎西 宮0798(26) 3101
東部支社	●578	東大阪市稻葉2-3-17	☎河 内0729(62) 1131
京順支社	●573	枚方市西田宮町16-17	☎枚 方0720(41) 1251
神戸支社	●650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神 戸078(576) 5231
京都支社	●604	京都市中央区烏丸御池西側町358	☎京 都075(231) 8151
奈良支社	●631	奈良市学園北2-4-1	☎奈 良0742(44) 1111
和歌山支社	●640	和歌山市本町1-1-1	☎和 歌山0734(31) 2481
姫路支社	●670	姫路市神鷹町4-8	☎姫 路0792(38) 2221
姫路支社	●675	加古川市加古川町東津29-1	☎加 古川0794(21) 1801
豊岡支社	●668	豊岡市三坂町6-57	☎豊 岡0796(3) 2221
湯南支社	●525	津原市泊分町宇荒屋680-1	☎津 原0775(62) 5311
彦根支社	●622	彦根市大東町12-11	☎彦 根0748(22) 3131
(長浜営業所)	●626	長浜市南兵衛町3-4	☎長 浜0748(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社